教育センターミニレター

広島市教育センター

2月号

◆１ページ
・教員長期研修生研修報告会
・ICT機器の効果的な活用（井口中学校）
◆２ページ
・言語活動の充実シリーズ「道徳編」
・実践紹介「中学校外国語科」（高陽中学校）

平成26年度教員長期研修生　研修報告会の開催

上の写真は，教員長期研修生の検証授業やミドルリーダー研修の一コマです。

教育センターでは，各教科・領域における専門的知識や技能及び教育活動を推進するミドルリーダーとしての力量の向上を図るため，６か月間の長期研修を実施しています。本年度，市内の幼稚園・小・中学校より９名の先生方が教育活動の充実を目指した実践研究等に取り組んでいます。

この研究成果を発表する報告会を，３月１７日（火）１３：３０より教育センターで行います。参加希望の方は，お気軽に教育センターまでご連絡ください。

領域	研究主題等	長期研修生
幼稚園教育	幼児のソーシャルスキルを向上させるための援助に関する研究	中筋幼稚園　二川　さゆみ
国語科教育	小学校国語科中学年『読むこと』における段落相互の関係をとらえる力を自覚できるようにする学習指導の工夫	山本小学校　小松　司
	中学校国語科第１学年説明的文章における，中心的な部分と付加的な部分を読み分け，要旨を的確にとらえる能力を育てる指導法に関する研究	井口中学校　村山　友一
算数科教育	小学校算数科第４学年『変わり方調べ』における数学的な考え方の育成に関する研究	仁保小学校　松下　彰吾
数学科教育	中学校数学科第１学年『資料の活用』領域における資料の傾向をとらえ説明する力を育む指導法に関する研究	古田中学校　濱本　英一
社会科教育	『社会的事象の特色や相互の関連について考える力』を高める小学校社会科中学年における実践的研究	五日市東小学校　諸井 信
体育科教育	小学校体育科ボール運動領域における学習意欲を高めるための指導の工夫	東野小学校　大庭　浩一
生徒指導	友人関係に対する自律的動機づけを高めるための研究	矢野小学校　石河　良典
情報教育	情報活用型授業において児童の自らの考えを創出する力を高めるための指導法の工夫	彩が丘小学校　元田　学

基礎・基本を確実に定着させる
ＩＣＴの効果的な活用

活動イメージをもたせる工夫

― 動画の活用 ―

英語科「Program6　由紀のイギリス旅行」
～リアクションを用いたスキット作り～

井口中学校　竹内　春佳　教諭

発表などの表現活動を充実させるためには，活動のイメージ化が重要です。
学習のゴールのイメージをもたせることで，子どもの主体的な活動を促すことができます。

ICTを活用した
授業づくり研修より

課　題
「英語でリアクションができるようになろう！」

【生徒の疑問①】
どんな感じですればいいの？

【手立て①】
学習のゴールのイメージをもたせる

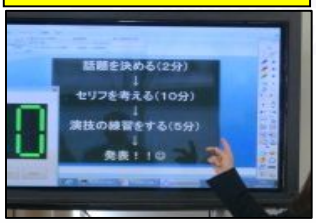
前回実施したクラスの動画等を使用。

話合い

【生徒の疑問②】
どう進めればいいの？

練習

【手立て②】
学習の手順を明確にする



発表（表現）

デジタルカメラの動画機能を活用すると手軽に撮影できます。

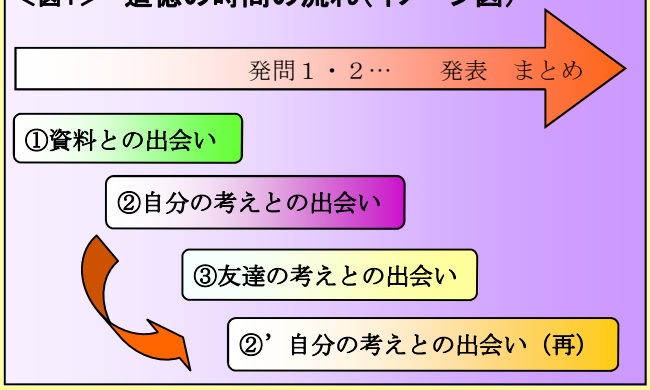
「言語活動の充実」シリーズ 道徳編　言語活動で「3つの出会い」に導く

道徳の時間における言語活動としては，**役割演技**，**動作化**，**話合い**，**書くこと**などが考えられます。それらを通して，右の＜図１＞の中の①～③の３つの**「出会い」**ができているかが大切です。

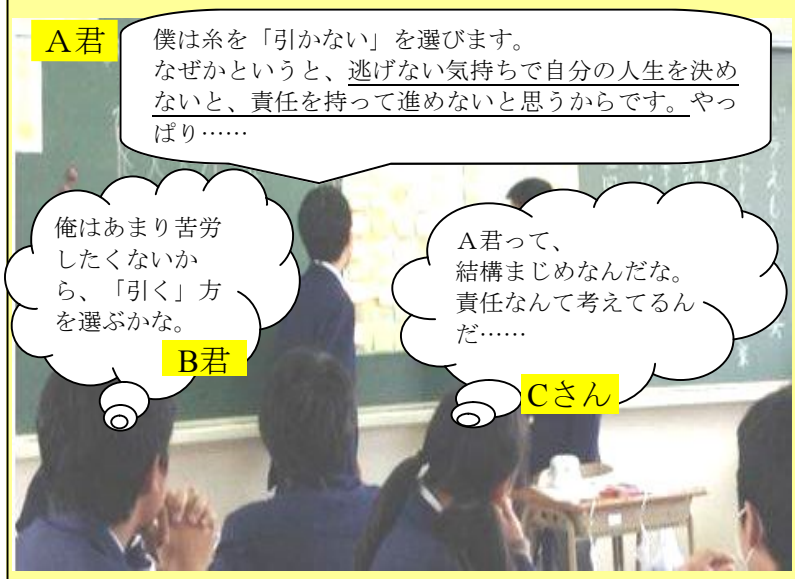
特に，自分とは考えそのものや理由が異なる「③友達の考えとの出会い」を経て，考えが新しくなったり，より明確になった**「②’自分の考えとの出会い（再）」**が最も重要です。

45分あるいは50分の中で，③や②’に出会わせるためには，まずは前半の指示や発問を精査し時間を確保した上で，課題を自分のこととして考え，自分の考えやその根拠，理由をじっくり言語化することが何より大切です。**下記の実践は，自分の考えやその根拠を言語化するための教師の働きかけの例です。**

＜図1＞　道徳の時間の流れ（イメージ図）



「糸を引っ張ると，時間がすぐに経ち，苦しい体験を感じずにすむ魔法の糸があります。もし次に，苦しいことがあると，あなたなら引っ張りますか？」という問いに対して，考えを交流している場面です。　**中学道徳 1-(3)自主・自律**



A君の発言の後でどんな指導をされますか？

「②　自分の考えとの出会い」のために

【例】○　A君の発言を評価
　　○　A君に問いかけ・切り返し
　　「なぜそんなことを考えたの？」
　　「責任ってそんなに大切なの？」
　　「人に任せたら楽じゃない？」　等

「③　友達の考えとの出会い」のために

【例】○　B君やCさんに問いかけ
　　「A君の発表を聞いて，自分と違うところはあった？」　等

↓

②’自分の考えとの出会い（再）

上記の例のように，A君の発言を起点として道徳的価値を表出させる言葉がけをしていければ，課題をより深く考え，再び「自分の考えとの出会い」につながっていきます。

道徳の時間は，集団の中で道徳的価値や人間の生き方や在り方について考える時間です。したがって，自他の道徳的価値を丁寧に言語化できればできるほど，それぞれの道徳的価値の自覚が促されることになります。

中学校 外国語科　コミュニケーション能力を育成するために

高陽中学校 隅井 久美子教諭の授業より　**指導第二課**

本市では，外国語科における生徒のコミュニケーション能力の育成を目指し，中学校の英語教員を海外の研修機関等へ派遣しています。２月１７日には，海外派遣研修参加者１６名による授業研究会を実施し，コミュニケーション能力を育成するための３つのポイント等について協議を行いました。今後，各学校において英語の授業を行う際の参考にしてください。

主な授業の流れ

導入
- 本時のめあての確認
  制服と私服はどちらが良いと思うか，理由を示して自分の意見を簡潔に書こう！

展開
- マッピングで自分の意見を整理する。
- 理由を示して自分の意見を書く。
- グループで交流する。

まとめ
- 本時の振り返り
  意見文を発表し,文の構成を全員で確認する。

３つのポイント

① 単元，本時のねらい（つける能力）を明確に！

能力に関する目標が，「書くこと」のみに絞られています。また，英語を用いて何ができるようになればよいかが具体的に示されています。

②ねらいが達成できる指導計画や言語活動を！

意見を整理して書かせるなど，思考を伴う言語活動があります。

ねらいが達成できたかどうかを確認する活動があります。

③ 生徒が英語に触れる機会，英語でコミュニケーションをとる機会の充実

英語のコミュニケーション能力を育成するためには，教師ができるだけ英語で授業を行い(TEE)，生徒が英語に触れる機会を充実させることが大切です。TEE実現のポイントとして，ICQ（教師の指示を明確にする質問）とCCQ（理解を確認する質問）があげられます。これを行うことで，生徒の理解を把握したり，生徒の間違った認識を修正したりすることができます。隅井先生の授業では，意識的にICQやCCQが使用されていました。